駅から歩いて1時間

内郷駅

必見の名跡、阿弥陀堂
石炭産業経て医療、福祉へ

回転櫓盆踊りの日には人であふれかえる同駅前

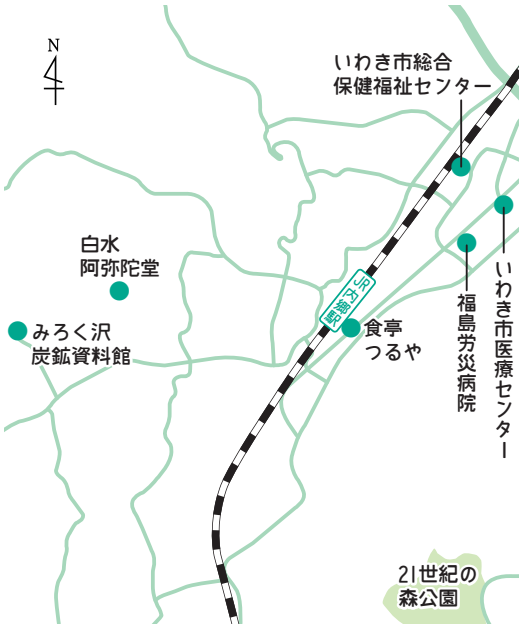
いわきの石炭産業の発祥地で、かつては「炭鉱の町」として栄えた内郷地区。現在は市医療センターをはじめとした、医療、保健福祉関連施設が多く、県内唯一の国宝建造物「白水阿弥陀堂」など、市外、県外からも観光客が訪れる名跡もある。歴史と自然あふれる街並みを歩いてみた。

JR常磐線内郷駅は、一九年の乗車人員が、定期、定期外を合わせて九百八十人。同路線の市内九駅中、五番目で、南北の位置も、利用者数もちょうど真ん中になるのが面白い。明治三十（一八九七）年の開業当時は、綴（つづら）駅という名称で、昭和三十一（一九五六）年に、現在の内郷駅へ改称された。

現在は、市医療センターや、市総合保健福祉センター、福島労災病院などの最寄り駅となり、駅周辺地域は、市内の医療や保健福祉の中心。

駅は、健康増進のため、市が整備した自転車道の「新川・夏井川ルート」の起点でもあり、新川沿いを経て、夏井川

周辺MAP



季節ごとの花々も楽しめる、同阿弥陀堂の浄土式庭園

八月の旧盆の時期には、駅前に回転櫓（やぐら）が組まれ、大勢の客でにぎわう盆踊りが行われていたが、昨年はコロナ禍で中止となった。

今回歩いたのは、駅の西側、国宝の願成寺白水阿弥陀堂の周辺までのルート。同お堂は県内唯一の国宝指定建造物で、永暦元（一一六〇）年に奥州藤原氏の祖、藤原清衡の娘、徳姫が亡き夫を弔うために建立したとされる。

優美なお堂だけでなく、四季折々の草花や、池のコイ、亀といった生き物まで、見て歩くだけでも心が安まる。奥州藤原氏の都、平泉の毛越寺（もうつうじ）にも通じる浄土式庭園は、市外、県外からの観光客も訪れる必見の名跡だろう。

炭鉱の歴史も

同地区はまた、百二十年以上にわたるいわきの産炭の歴史の始まりの地だった。

阿弥陀堂の先には「石炭の父」とも言われる、片寄平蔵が石炭を発見した、弥勒沢（みろく）があり、石炭発見の地として案内表示が立つ。

その先には、「みろく沢炭鉱資料館」があるが、二月の地震で落石があり、現在は休館中。個人が開設した資料館とは思えないほど充実した内容で、面白い展示だっただけに、早期の再開が望まれる。

現在、NHKで放送されている大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一が設立の発起人となった磐城炭礦（後に合併し常磐炭礦）。石炭輸送のために鉄道を敷設しようとしたことで、現在の常磐線がある。

ドラマでそういった経緯が取り上げられれば、コロナ禍で低迷するいわきの観光誘客の一助になってくれるのではと思うが…。（和）

JR常磐線の脇に整備されたサイクリングルート

この地区オリジナル

同福祉センターは、石炭輸送で使用された内郷操車場跡に建設された。福島労災病院も、常磐炭礦とその関連産業における労働災害の発生に対処するために設置された。

駅周辺には、昭和十一年開業の老舗食堂「食亭つるや」があり、「和風なニラレバー定食」などの定番人気メニューがおすすめ。

同阿弥陀堂の拝観時間は、四月から十月までが午前八時半～午後四時。十一月から三月までは同三時半まで。拝観受け付けは閉門十五分前。拝観料は、大人五百円、小学生三百円、未就学児は無料。拝観休寺（定休）日は毎月第四水曜日。年末年始、節分、旧盆など拝観できない期間あり。詳しくは、同寺ホームページ参照。

●願成寺白水阿弥陀堂
電話＝26－7008
●食亭つるや
電話＝26－3686

食の安全・安心。さらに、おいしい
シーフードケーキ
『御中元・ご予約承り中』
創作かまぼこ かねまん 本舗
http://www.kaneman.net/
0120-17-3360
■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。
■本店営業時間AM8:00～PM4:00（年中無休）

皆様の幸運を招く
恵比寿様　大黒様

■本　店
福島県いわき市平下高久字下原83
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ら・ミュウ店
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL&FAX.0246-53-7125

■オンラインショッ
www.kaneman.net
インターネットでのご注文はこちら▶